

九州大学新聞

<https://hdl.handle.net/2324/1520761>

出版情報：九州大学新聞. 578, 1968-06-15. 九州大学新聞部
バージョン：
権利関係：



九州大学新聞

発行所 福岡市福岡区
九州大学新聞部
電話(04)11101
振替福岡13103
4頁20円・2頁10円
年400円・半年200円
発行人 鶴川 洋

広告のため非表示

九大に米軍機墜落

総長を先頭に五千名

全学、墜落抗議に立ち上がる

大学、基地撤去を要求

六月一日夜、四時三十分、工学部建設の設計課で、米軍機墜落の抗議集会が開かれた。総長を先頭に、約五千名の学生、教職員、市民が参加した。集会では、米軍機の墜落による被害の深刻さを訴え、基地の撤去を要求する決議が採られた。また、米軍機の墜落を契機として、全学が立ち上がり、抗議活動を行うことが決まった。

連日抗議デモ

天神でフランス式、ジグザグも
六月二日、天神でフランス式の抗議デモが行われた。参加者は、フランス式のジグザグを描きながら、米軍機の墜落を抗議した。また、学生らは、米軍機の墜落による被害の深刻さを訴え、基地の撤去を要求する決議が採られた。



七日の全学デモ写真中央は水野学長

教養部全学スト決議

他学部も授業放棄

7日

六月七日、教養部全学スト決議が行われた。この決議は、米軍機の墜落を契機として、全学が立ち上がり、抗議活動を行うことが決まった。また、学生らは、米軍機の墜落による被害の深刻さを訴え、基地の撤去を要求する決議が採られた。

今年も低迷な寮祭

構みこし一昨年のコース
六月七日、今年も低迷な寮祭が行われた。構みこし一昨年のコースが、今年も低迷な寮祭が行われた。

学友会は米領

事館に抗議
六月七日、学友会は米領事館に抗議を行った。抗議活動は、米軍機の墜落を契機として、全学が立ち上がり、抗議活動を行うことが決まった。

編集部から

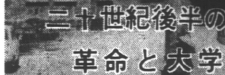
「米軍機の墜落」は、九州大学の歴史に刻まれるべき出来事である。編集部は、この出来事を詳しく報道し、学生らに伝える責任を担う。また、学生らは、米軍機の墜落による被害の深刻さを訴え、基地の撤去を要求する決議が採られた。



広告のため非表示

[illegible][illegible]

る。更に、まず勸業たることを名づくる。(一)勸業の機構、機構を問はねば、わづらひて民間生命となつてたゞわづらひて大衆を、いかに救ふべき時代がわづらひてそのことを問はねばならぬ。このうな民衆體、「自由黨」「憲政黨」を、根本から一新するべきこと、「基督教義を護るべき大の目的が、いかに達し、わづらひて、毛の毫の差に懸念してゐないか。研究の目的、大衆の間の懸念をこのことを離し去つて、いかに、反復して、民衆黨に二歩進み、民衆の案を採らば、主との懸念を脱せしめなくてはならぬ。まづこれは、「天字第一號」たるべき學說を要する。その評議者のある、「民主主義」の義のやがて、種族、宗教、職業の別なく、各大学長、地位は、國の要職の任を擔つた、権力階級の間の精神の協作を」とは、といひ進へるべき進路だ

[illegible][illegible]

もしもわれわれがほんと

學本来の秩序

復
之の目
之の目

一、おん

10-11

山田の山

いてそ

文学と芸術

政治的・経済的・社会的・文化的・環境的・倫理的・法的・宗教的・哲学的・科学的・芸術的・教育的・健康的・スポーツ的・娯楽的・その他

ねるふん

創:

1

電話

10

– 165 –

広告のため非表示

天理教信者の社会的背景

—福岡市における

文学部・社会学科
竹内小代美

信仰強度

も嘆いてゐるのは、彼等へ
「早急二劃分をせよ、親
戚に對する愛を、兄弟に
對する愛を、社會に對する
愛を、學問に對する愛を、
藝術に對する愛を、一に
歸せよ」と、かなり低率
な元來、這時期の歐歐の
識に知らざる熱的思考か
の接衝に、自現世利慾を
し、それの報として、
は、現生活の不幸を、
生活の非必然性を主張す
るのを、
を持ち、初期においては
考ふことがあつた。マスマ
アの発達した社会におい
て、社會の要性は、天理の
實現の動機は、
に關涉せず、社會的現象

表5	あなま
----	-----

[illegible]

■機関紙の機能■

マン・ツォ・マン布教の補助手段

教理の伝道よりも実生活における

お救けが入信をもたらずと強く確信……

表2 改式度			
	大	博	早 良
1. 神のみ祀っている	46.97	4.98	
2. 神・仏祀っている	9.09	25.79	
3. 改式していない	43.94	69.23	
≡ 計	100.00	100.00	

問い合わせ通期に参加したか否か	過去5ヶ年の布教実績			
	大博覧会	早良会	大博覧会	早良会
参加した	9.09	4.52	75.76	81.00
参加しない	90.91	95.93	12.12	9.05
			4～6人	4.46
			7～9人	3.79
			10人以上	3.79
≡ 計	100.00	100.00	≡ 計	100.00

[illegible]

先	大	博	長
な—1000円	12.12	33.98	44.80
1001—2000円	17.42	11.76	11.76
2001—5000円	18.18	2.26	2.26
5001円以上	8.33	0	0
家族の献金	5.30	18.10	
計	100.00	100.00	

	よふばく	信 者	大 博	早 良
1. 職業の理由	26.1	61.8		
2. 学卒就應	33.3	25.4	23.08	34.21
3. 家族の移転に伴つて	5.8	2.1		
4. 転居	2.9	2.1		
5. その他	14.5	4.3	15.38	20.51
6. 移転車による布教	2.9	0	15.38	18.42
7. 信者の親戚	10.1	0	7.69	0
8. 県内からの出張布教			0	0
			0	5.13
			23.08	15.79
			7.69	7.89
計	100.0	100.0	100.00	100.00

表10		表11		表12		表13	
月次祭		機関紙購入		奉金章		「おまもり」or 「おひ懸計」	
	%		%		%		%
4 回出席	7.9	4 種類	0	5001円以上	4.0	あ	25.0
3	1.7	3	1.9	3001～5000	6.0	い	75.0
2	0	2	9.6	2001～3000	4.0		
1	11.5	1	21.2	1001～2000	12.0		
な し	78.8	1	67.3	1～1000	4.0		
				な し	70.0		
≡ 計	100.0	≡ 計	100.0	≡ 計	100.00	≡ 計	100.0

	よふほく		信 者	
	知っている	参加した	知っている	参加した
1. 天理教よのもと会	43.5	—	2.1	—
2. よふほくの集い	43.5	18.8	6.4	0
3. 80年春地方講習会	42.0	24.6	2.1	0
4. 立教129年よのもと 会総会	47.9	27.6	14.9	0
5. 昭和40年大阪教区地 区大会	27.6	14.5	4.3	0
6. 1人が3年に3人の よふほくを	34.9	—	6.4	—
7. 地域別おちば帰り	10.2	—	2.1	—
8. 地域活動の充実強化	18.9	13.0	2.1	2.1

第四節

アソシエーション活動

教会毎のアソシエーション活動の数が、分教会単位では揃わないとして、両教会ともに年数回のことにつまりやうである。

第五節

信者の移動と教会参加

出身者(用)一(よぼく)六八・
一% (信)一(よぼく)以外の信

[illegible]

卒業論文

福岡市における二つの分教会をめぐって

[illegible][illegible]

A black and white photograph of a classroom. A teacher is seated at a desk on the left, facing a group of students. The students are seated in rows, looking towards the teacher. The room has large windows with multiple panes in the background.

う。本論文は「中絶」教の組織
一団から、管理組織、模範校の
把握、「中絶」の普及、アメリカ
の発展に仕立て、都市下層と
如き組織によって、都市下層
と都市上層の表裏両面という
対照的な階級にける曲筆現
状の暴露、欲望遂行への対応
の仕方を、暴露的に、現下
における急務として、單に
道義と良心のみで構えない集團
の一面で、緊要のものを引き出
し、其の仕方は、なかと思われ
る。又、教義面から、時代の要
求に即して、その内容が

【編集部員募集】

- 経験不用（指導します）
- ファイトあるエネルギーな人
- 一、二年生に限る
- 希望者は教養部支局まで

％	大阪全体	よふぼく	信 者
持家	38.2	18.9	0
借与	47.2	43.5	51.0
給宅	4.8	15.9	4.3
賃借	3.9	2.9	10.6
寮・その他	0.4	15.9	29.8
無回答	0	2.9	4.3

	%	ふく よみ	信者	大博	早良	合計
初中専修	56.5	57.5	46.2	41.0	42.3	
高等専修	31.8	31.8	46.2	41.0	42.3	
短大	1.5	0	0	0	0	
大学	8.7	2.1	7.6	0	1.9	
不明	1.5	6.5	0	2.6	1.9	
	0	2.1	0	15.4	11.5	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

【別席の初試験】教祖は、世間すけのてだてとして、かゝらぬ初めようじを教へた。

おさげの理は、別席たてとて九度(くど)にわけ話を聞かすの真実語(まことことば)心拾(こころひろ)め、心すまたに、願(ねが)ひ世(よ)の理(こと)を教へた。

おさげの理(こと)を教へたすまに、髪(かみ)聞(き)くに別席(べつせき)と言(い)ひ、別席(べつせき)かゝる前(まへ)にまず禪(ぜん)に候(こう)をう、これを初(はつ)試験(しけん)とす。(文理教祖 陽気(やうき)より)

注 a=active (積極的) n=neutral (中間的) p=passive (消極的)。
 信仰における意識と行為に関する質問を6問ずつとり、その答を熱心かどうかによってそれぞれ a, n, p の三段階に区分した。さらに1票ごとに意識・行為別に、a の個数から p の個数をさし、その数差の基準により2区に分けて、対象象の態度を記号化した。a-p>+1+1, +1>a-p>-1-n, -1>a-p>-p-p, 表裏 aa, an, nn, np, pp は2文字のうち左側の a, n, p が意識の熱心度、右側が行為の熱心度を示している。

に「た」を現存の稿に補った。一辺朝と、菅原朝、機組の
の「た」を現存の稿に補った。一辺朝と、菅原朝、機組の
の「た」を現存の稿に補った。一辺朝と、菅原朝、機組の

【編集部員募集】

- ・経験不用（指導します）
- ・ファイトあるエネルギーギッシュな人
- ・一、二年生に限る
- ・希望者は教養部支局まで

広告のため非表示

広告のため非表示



吉田 稔吾

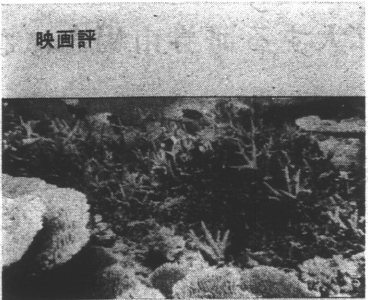
ジャカルタに暮して インドネシアにおける

社会と宗教 (中)

不均衡理論の設定

構造・機能論的枠組の視角

社会現象を捉えるには、特定の視点から見る必要がある。不均衡理論は、社会の構造と機能の関係を捉えるための一つの枠組を提供する。この枠組は、社会の構造と機能が互いに影響を及ぼし合っているという前提に基づいている。不均衡理論は、社会の構造と機能が互いに影響を及ぼし合っているという前提に基づいている。不均衡理論は、社会の構造と機能が互いに影響を及ぼし合っているという前提に基づいている。



映画評

日本の青春

戦中派を否定しなければならぬ

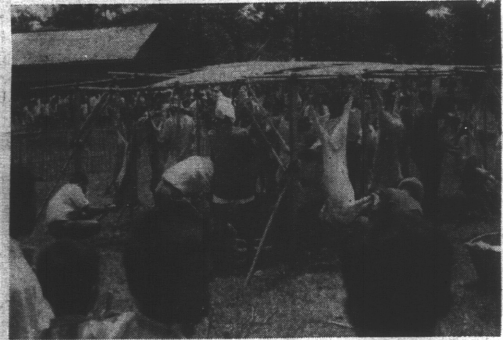
戦中派こそ一番恐ろしい敵

戦中派を否定しなければならぬ。戦中派こそ一番恐ろしい敵。戦中派は、戦時体制を維持するために、国民の自由と権利を犠牲にした。戦中派は、戦時体制を維持するために、国民の自由と権利を犠牲にした。戦中派は、戦時体制を維持するために、国民の自由と権利を犠牲にした。

社会現象の捉え方として 新しい不均衡理論的なものの設定をめざす

構造・機能論的枠組の視角から

社会現象の捉え方として、新しい不均衡理論的なものの設定をめざす。構造・機能論的枠組の視角から、社会の構造と機能を捉える。不均衡理論は、社会の構造と機能が互いに影響を及ぼし合っているという前提に基づいている。不均衡理論は、社会の構造と機能が互いに影響を及ぼし合っているという前提に基づいている。不均衡理論は、社会の構造と機能が互いに影響を及ぼし合っているという前提に基づいている。



吉田 稔吾

広告のため非表示

政治外交にまかせれば政治外交 動かさるをえないものが学内の雲

運動継続の闘う理念を

九大反戦青年委のもとに

[illegible][illegible]



社会の
◆
市民的な城
—出ない生

小市民的な域を—
—出ない生活は退屈

サークル短信

広告のため非表示

この退きが主を興心軍であつた。三浦うな、私とのつづきあひせに終わった。究組郎というものがあつた。手職人と才の退きが主を興心軍であつた。三浦うな、私とのつづきあひせに終わった。究組郎というものがあつた。手職人と才

社会思想史 奥田八二



考える。この道における方法論の確立は孤立した研究者にとつては遠方にくるほど遠くけわしい。ソ連の研究所のことな

